

ABVD 療法の手引き



2013年1月

国立がん研究センター中央病院
血液腫瘍科・薬剤部・看護部

はじめに

ABVD 療法はホジキンリンパ腫に対する標準的な治療方法の一つです。ホジキンリンパ腫の治療法として、ABVD 療法以外の化学療法や放射線療法などもあります。ホジキンリンパ腫の進行程度などにより、これらの治療法を組み合わせる場合があります。

ABVD 療法は、4 種類の抗がん剤（ドキシソルビシン、ブレオマイシン、ビンブラスチン、ダカルバジン）を組み合わせた治療法です。欧米から報告された ABVD 療法に加えて、ダカルバジンの投与量を減らした ABVd 療法という変法があり、本邦において ABVD 療法と同等の有効性を示唆する臨床試験結果が報告されています。ABVD 療法（ABVd 療法を含む）は、ほとんどの患者さんが外来で実施できるのが特徴です。

この小冊子では、ABVD 療法によって起こり得る主な副作用とその対策についてまとめました。

この小冊子が治療を受けられる皆様に少しでもお役にたてれば幸いです。

《1 サイクルの治療スケジュール》

	1日目	2~14日目	15日目	16~28日目
A：ドキシソルビシン（点滴）	↓	休 薬	↓	休 薬
B：プレオマイシン（点滴）	↓			
V：ビンブラスチン（注射）	↓			
D：ダカルバジン（点滴）	↓			

上記スケジュールを原則4週間ごとに繰り返します。治療を何サイクル行うかは、病気の進行状況や治療効果によって異なります。

《点滴（1日目，15日目）のスケジュール》

以下の7つの注射薬を順番に投与します。

注射剤の内容		投与時間
エクザール注（ビンブラスチン）	抗がん剤	約1分
グラニセトロン注	吐気止め	約15分
ダカルバジン注	抗がん剤	約10分
ソル・コーテフ注	発熱予防、血管痛・静脈炎予防	約30分
プレオ注（プレオマイシン）	抗がん剤	約30分
ドキシソルビシン注	抗がん剤	約30分
生理食塩液	点滴ルート内の抗がん剤を洗い流す	約5分

点滴に要する時間は約2時間です。

（点滴当日の点滴前に採血を行い、データを確認します。）

《点滴前の内服薬》



イメンドカプセル 125mg

吐気止め

点滴開始 1 時間前に 1 カプセル服用



《点滴後の内服薬》



イメンドカプセル 80mg

吐気止め

朝食後に 1 カプセル服用。点滴の翌日（イメンドカプセル 125mg を服用した次の日）から 2 日間服用



《医師の指示によって内服》



デカドロン錠 0.5mg

吐気止め

医師の指示に従って服用



ノバミン錠 5mg

吐気止め

吐気がする時に 1 回 _____ 錠服用

_____ 時間以上あけて 1 日 _____ 回まで





プリンペラン錠 5mg



吐気止め

吐気がする時に 1 回 _____錠服用

_____時間以上あけて 1 日 _____回まで



カイトリル錠 1mg



吐気止め

吐気がする時に 1 回 _____錠服用

_____時間以上あけて 1 日 _____回まで



ゾフランザイデイス錠 4mg



吐気止め (水がなくても服用できます)

吐気がする時に 1 回 1 錠服用

_____時間以上あけて 1 日 _____回まで



シプロフロキサシン錠 200mg



抗菌薬

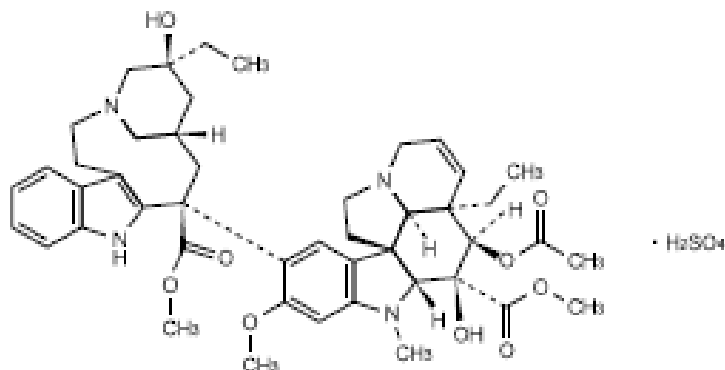
38℃以上の発熱時に開始し、朝昼夕食後に 1 錠ずつ、
解熱しても 7 日間飲みきる

(発熱後 3 日経っても下がらない時は、病院へ連絡して
下さい)

※後発医薬品 (ジェネリック医薬品) など、上記の医薬品名や写真
と異なる場合があります。患者さん個々の状態によって使用する
お薬や服用方法を変更する場合がありますので、その際は、
医師の指示に従って下さい。

注射薬名：エクザール注射用

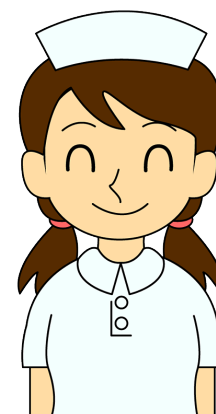
(一般名　：ビンブラスチン硫酸塩)



エクザールは、ニチニチソウという植物に含まれる成分から作り出された抗がん剤で、細胞が分裂する際に必要な細胞構成成分のひとつである微小管^{びしょうかん}に作用します。微小管を構成しているチューブリンという蛋白質の結合を阻害することによって腫瘍細胞の増殖を阻害し、死滅させます。

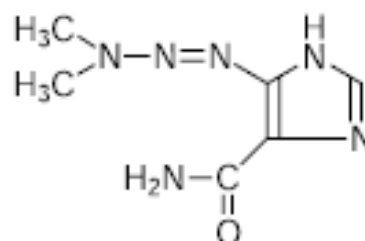
エクザールは、短時間で静脈内に投与します。

エクザールを投与すると、手や足がピリピリするなどの異常感覚、便秘やイレウスなどの末梢神経障害が起こることがあります。上記のような症状が出た場合は、症状が軽いうちに医師、看護師又は薬剤師に報告して下さい。



注射薬名：ダカルバジン注用

(一般名：ダカルバジン)



ダカルバジンは、生体内でジアゾメタンに代謝され、ジアゾメタンがDNAにくっつくことによって、腫瘍細胞の増殖を阻害し、死滅させます。

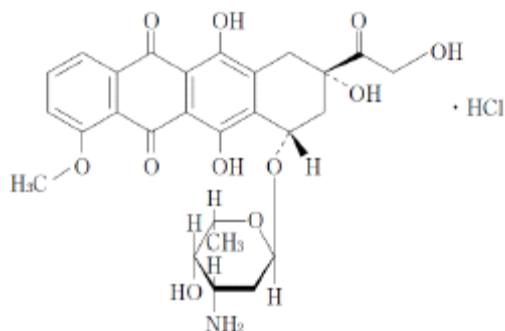
ダカルバジンは、ホジキンリンパ腫の治療に欠かすことのできない薬で、国際的に有効性が証明されています。

ダカルバジンは光に不安定で、その光分解物によって血管痛等を引き起こすことがあります。点滴静注する場合には遮光して投与します。点滴の針を刺している部位やその周辺の血管に添って痛みを感じたときは、医師、看護師又は薬剤師に報告して下さい。



注射薬名：ドキシソルピシン塩酸塩注射液

(一般名：ドキシソルピシン塩酸塩)



ドキシソルピシンは、腫瘍細胞の DNA にくっつき、腫瘍細胞の増殖を止めたり、死滅させる作用を持つ薬です。

薬は赤色をしています。薬を注射してから1～2日の間、尿や汗に色（赤色・桃色・橙色等）が着くことがあります。その後、元に戻りますので、ご心配はいりません。

心疾患の既往がある方は、治療開始前に担当医へご相談下さい。



【 副作用とその対策 】

下記に示す ABVD 療法後の副作用は、すべての方に起こるわけではありません。その程度には個人差があります。

以下に主な副作用とその対策についてご紹介いたしますので参考にしてください。

骨髄抑制

抗がん剤を使用すると血液を造る骨髄も影響を受け、白血球、赤血球、及び血小板が減少することがあります。

白血球の減少 ～感染症にかかりやすくなります～

白血球は、病原体から身体を守る（感染を防ぐ）働きを持った血液成分の1つです。白血球が一定レベル以下に減少すると抵抗力が低下し、感染にかかりやすくなります。抗がん剤治療中は、感染予防策が大切です。また扁桃炎・虫歯・歯槽膿漏・膀胱炎・痔などがある方は、治療開始前に担当医とご相談ください。



対 策 :

自分の血液検査結果に関心を持ちましょう。

外出後や食事の前，お手洗いの後に石鹸を使用した手洗いを習慣化しましょう。

できるだけ人ごみは避け，やむを得ない場合にはマスクをしましょう。



毎日本温を測定し，もし 38°C 以上の熱がでた場合は，処方された抗菌薬（シプロフロキサシン錠）を服用しましょう。
 38°C 未満の熱の場合でも，口腔内やのどの痛み，肛門周囲の腫れ，あるいは寒気など，発熱以外の症状が重なっている時は服用しましょう。

ただし，ABVD 療法を行うとブレオマイシンによる一過性の発熱が見られることがあり，多くの場合，投与終了後 4～5 時間までに出現します。ABVD 療法施行日に発熱が見られた場合には，抗菌薬は服用せずに熱が下がるのを待ちましょう。

抗菌薬を 3 日間服用しても熱が下がらない時
や下痢などその他の症状が重なりつらい時，
ABVD 療法後から続く発熱が改善しない場合には，
病院へ連絡して下さい。



赤血球の減少 ～貧血症状につながります～

めまい，立ちくらみ，冷え，だるさ，息切れ，動悸などの症状があります。

血小板の減少 ～出血しやすくなります～

血小板は，血液を固まりやすくする働きがあります。血小板の数が少なくなると，出血しやすくなります。

赤血球や血小板の輸血を必要とする場合があります。血液検査によって確認致しますが，貧血症状が改善しない場合や出血傾向が続く場合は，早めに担当医へご連絡下さい。



吐気・嘔吐

ABVD 療法では、吐き気や嘔吐、食欲不振などの消化器症状が発現しやすいため、複数の吐気止め（注射薬と内服薬）を組み合わせることで予防します。

抗がん剤の点滴当日に現れる急性のものと、点滴終了後2～7日目に現れる遅発性のものがあります。吐気止めの薬を組み合わせることで症状を和らげますが、もし症状が現れた場合には以下の対策を参考にしてください。

対 策：

食べたいもの、食べられるものを少量ずつ食べましょう。

脂っこいものやにおいが強いものは避け、さっぱりしたものや消化の良いものを食べましょう。においが気になる時は、冷すと食べやすくなる場合があります。

窓をあけて新鮮な空気を入れましょう。

リラックスできるスタイルで過ごしましょう。

食事が取れない時でも、なるべく水分（スポーツドリンクなど）を取るよう心がけて下さい。



脱毛

脱毛の程度には個人差はありますが、薬を点滴してから2～3週間が過ぎた頃より、髪の毛が抜けてきます。しかし、この脱毛は一時的なもので、治療を終了してから2～3ヶ月で髪が生え始めます。新しく生えてきた毛髪は、色や質が以前と変わることがあります。

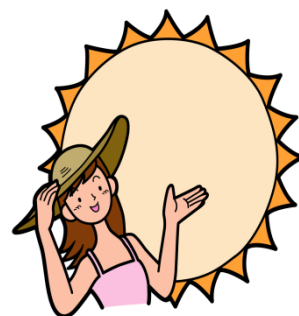


対策：

髪の毛が回復してくるまでの間、かつらやスカーフなどを用意すると良いでしょう。またショートヘアーにすると脱毛が始まった時の手入れが簡単になります。

髪を洗わないのは逆効果です。治療中は頭皮が敏感になるので、刺激の少ないシャンプーでやさしく洗髪し、清潔に気をつけましょう。

外出の際は直射日光を避けるため帽子をかぶると良いでしょう。



口内炎

ABVD 療法を行ってから 1 週間前後に現れることがあります。

対 策 :

口の中を清潔にし、うるおいを保っておきましょう。

市販の洗口液（アルコールを含む製品）の使用は避けましょう。粘膜を傷つけたり，口腔内を乾燥させ，口内炎ができやすくなることがあります。

歯ブラシは柔らかいものを使い，しっかりと歯と歯茎をブラッシングしましょう。

刺激の強い食べ物や熱すぎる食べ物は避けましょう。

痛みが続き，食事や水分が取れない場合には，担当医にご相談下さい。



その他

心毒性

ドキシソルピシンには、心臓に影響を及ぼす副作用があります。主な症状として、息切れ，動いた時の息苦しさ，胸痛，足の^{むくみ}浮腫み，頻脈（脈が速くなる）などがあります。

肺毒性

ブレオマイシンには、肺に影響を及ぼす副作用があります。主な症状として、咳，発熱，息切れ，動いた時の息苦しさなどがあります。ブレオマイシンによる薬剤性肺障害は重症化すると命にかかわる場合があります。これらの呼吸器症状が出現した場合は、早めに担当医へご連絡下さい。

点滴部位における皮膚障害



点滴の針を刺している部位の付近に痛み，熱感，又は違和感等の不快感を感じた場合には、直ぐにお知らせ下さい。薬が血管外に漏れている可能性があります。点滴の際のわずかな漏れでも、放置すると漏れた部位に炎症や壊死を起こすことがあります。点滴投与後、数日してから上記症状が出現した場合にも、直ぐに担当医へご連絡下さい。



その他、気になる症状がありましたら、
医師・看護師・薬剤師に
ご相談下さい。



病院の連絡先

電話 03-3542-2511 (24 時間対応可能)

ご連絡の際は、診察券をお手元に準備してお電話下さい。



🌀 監修 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科

🌀 編集 薬剤部

🌀 編集協力 血液腫瘍科

看護部

🌀 編集協力 フォトセンター

